

綿実油粕、「コットンハル」の実証実験

岡村製油

本社工場に農園

【大阪・柏原】岡村

製油(大阪府柏原市、

岡村博光社長)は同社

の実農園を開園、綿実油粕やキノコ培地や土壌改良剤に使用する「コットンハル」の実

証実験を行っている。

約100平方㍍の敷

地で、トマト、キュウ

リ、カボチャ、オクラ、ナス、ズッキー

など種類の異なる野菜を栽培。綿実油粕と「コットンハル」の効

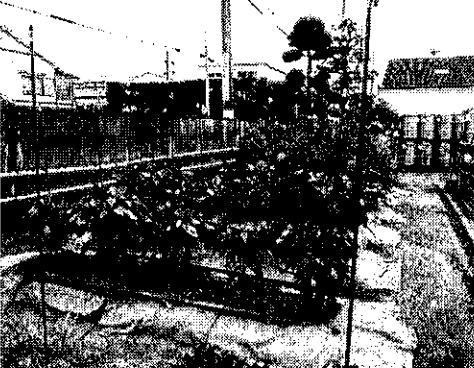
き具合や、ナタネと綿

二、ピーマン、スイカ

などを栽培。綿実油粕と「コットンハル」の効

き具合や、ナタネと綿

二、ピーマン、スイカ



多種の作物を栽培

▽…煮物やサ

ラダの中で登場

する「ひじき」。

収穫方法と加工

については、あ

まり知らない。

網を入れて、一網

島の南端に位置する南房総

市の千倉町と白浜町は、

「房総ひじき」の産地とし

て全国に知られている。そ

こでのひじき漁は、年間三

回に限られる。春先、潮の

以上が参加することもあ

る。刈り取られたひ

彦氏は「コットンハル」を敷けば雑草が生長されると高い。使用後は土に戻せばそれでOK」と強調。

ないので除去しやす

い。使用後は土に戻せば

て変わることはない。

作物は季節に合わせ

て育てる予定。「栽培

の様子をSNSで発信

し、効果を多くのかた

がたに知つていただき

よつにしたい」。

彦氏は「コットンハル」が長続きし、農作物を

豊かに実らせると高い

えても根を深く伸ばさ

ず評価を受けている。

彦氏は「コットンハル」が長続きし、農作物を

豊かに実らせると高い

